

第6学年 国語科学習指導案

平成19年6月20日(水)5校時

児童 16名

指導者 境田喜義

- 1 単元名 相手の意図を聞き取り，自分の主張を伝えよう
「学級討論会をしよう」

2 単元について

(1) 単元の価値について

児童は，これまでに1年生から積み上げてきた話す・聞く・話し合う力がすべて生かされることになる。特に5年生では，計画的に話し合うために話題に沿って発言したり，説得力をもって自分の考えを提案したりしてきている。

また，この期の児童は，自分を認めてもらいたいという気持ちから，友達の共感を得ることを言いたい気持ちや，人前で上手に話したいという気持ちが強い。そのため，自分の考えや感想を率直に述べさせることが難しくなる。

これは，自我が芽生え，社会性を少しずつ身につけてきたことから，自分をよく見せようとして周りの人の目を気にかけたり，失敗を恐れたりする気持ちが強くなるからである。

本学級の児童は元気がよく，学習時においては，多くの児童が意欲的に自分の考えを発言することができる。友だちの発言も真剣に聞こうとする。

しかし，「話し方」としては，自分の考えを述べる際に友達に分かりやすく伝えるためにはどのように話したらよいかを意識できている児童は少ない。ずっと一学年一学級での固定のメンバーの中では，お互いの個性についても熟知している部分が多く，多くを語らなくても理解し合える部分も少なくないため，話し合いが建設的にならず深まりにくいことがある。

具体的には，結論と理由の話し方，資料提示しながらの話し方，自分の立場を明確にした話し方，適量の音量，速さでの話し方など十分に身につけていない児童が多い。「聞き方」としては，友達が発言しているときに何を伝えたいのか，伝えるためにどんな話の組み立てに気をつけて話しているのかなどを意識して聞いている児童も少ない。

最上級生として，代表委員会や各種委員会などの話し合いを進めていく機会の多い児童にとってこの期に話し方・聞き方の学習をすることは望ましい。

この単元は，「学級討論会」をすることで，目的や意図に応じ，考えたことや伝えたいことなどを的確に話す力や相手の意図をつかみながら聞く力を育てる単元である。討論とは一つの議題に対して意見を出し合い，議論を戦わせることであり，相手を説得することを目的として行われる。しかし，一方的に自分の意見を主張するだけでは議論として成立しない。相手の主張をふまえながら，聞き手に自分の主張を納得させるように論を展開していく必要がある。

議題に対して「肯定・否定」または「賛成・反対」など自分の立場をはっきりとさせ，話をさせていく。その際に，結論を先に話し，その理由を後から具体例を示しながら話すことで伝えたいことをよりの確に話すことができるようになり，説得力のある話し方となる。

また，相手の主張を聞き，相手につなげて話すことも討論を進める上で大切な力となる。聞き手は，話し手の考えと自分の考えの共通点や相違点を吟味しながら，事実と意見を区別しながら聞いたり，提示された具体例と照らし合わせたりしながら聞くことで，相手の意図をつかみながら聞く力を育てたい。小学校最後の学年にこの学習を行うことは，小学校での「話すこと・聞くこと」の総合的な力を発揮できると考える。

さらに，この後第5単元「共に考えるために伝えよう」では，互いの理解を深め合い，相談し，助言し合う話し合い活動へとつなげていく。

(2) 児童の実態

アンケートによる実態調査 (平成19年5月25日実施 調査人員16名)

学級会，朝の会，帰りの会などで発表しますか。

よくする0 まあまあする6 たまにする8 しない2

それはなぜですか。

- ・話すのが好き3 ・はずかしい1 ・何もしないのはつまらない1 ・考えつかない5
- ・友だちと同じ意見だと付け加えたいくなる4 ・自分の意見をまとめられない1
- ・帰りの会など早く終わってほしいから2

国語の授業での話し合い活動は好きですか。

好き4 まあまあ好き5 あまり好きではない3 きらい4

それはなぜですか

- ・みんなで話し合える4 ・意見の食い違いでもめる3 ・いろんな考えがきける3
- ・自分の考えが言える2 ・国語がきらい2 ・質問に対し答えが合わないときがある1
- ・分からないことが少しは理解できる1

あなたが自分の考え(意見)を発表するとき，気をつけているのはどんなことですか。

- ・大きな声ではっきりと11 ・分かりやすくまとめてから6 (複数回答可)
- ・はずかしがらずに1 ・みんなの目を見ながら1 ・理由をつけ，説得力あることばで1

あなたが友達の考え(意見)を聞くとき，気をつけているのはどんなことですか。

- ・発表者を見る4 ・よく聞く7 ・発表者に口をはさまない4 (複数回答可)
- ・意見に対し質問を考えながら1 ・自分の考えと照らしながら1 ・メモをとりながら2

あなたが友達と考え(意見)が合わないときどのようにしていますか。(複数回答可)

- ・自分の意見を言い，さらに話し合う5 ・理由をつけて納得してもらう5
- ・どちらが正しいかさらに話し合う3 ・他の友だちにどっちがいいか聞く2
- ・友だちに合わせる3 ・自分のよいところをたくさん言う2
- ・相手が納得するような理由を述べ，だめなら相手の意見に賛成する2

【考察及び授業の様子】

より、「話すこと」についてはあまり苦手意識や抵抗感はなく，学級内でも自分の考えや気持ちを様々な言葉で表現している。授業参観や外部の講師などを招いての学習でも，意欲的に発表する姿が見られ，最初の一人発表すると，後に続いているような意見が出てくる光景がよく見られる。

しかし，友達の意見をよく聞いていないためにつじつまが合わなかったり，的はずれな発表になったりすることもよく見られる。

より，国語の学習においては，グループ活動による新聞作りなど，協同でまとめ上げ制作及び発表する活動には意欲的に取り組んでいる。しかし，グループ内での個人差や途中で意見の食い違いによる口論が見られ，みんなが所属観や成就観・達成感を十分に味わうまでには至らないことがある。

より「話すとき・聞くとき」の心構えとして，第三者から見ても分かる姿勢や態度などには注意を払っているが，当事者としての意識(話し方・聞き方)が不足している。ただ，自分の考えをしっかりと伝えるためにとか相手の考えを理解するためにといった心の準備ができつつある。

より，自分の主張ばかり一方的にということはあまりなく，解決するための手段としていくつかの方策を自分なりに持っている。しかし，相手に合わせるなど納得していないのに，その場しのぎのような場合も多い。

(3) 指導上の留意点

はじめに、討論会は初めての活動であるので児童にとって興味のあるものを論題とし、討論会の進め方の補助として討論会話し方シートや討論会が円滑に進行できるように司会進行手順を準備し、話したり考えたりしやすいようにしたい。

また、グループ内での意見を検討、修正する時間を十分に設けて、それぞれ自分の立場を明確にした考えを持たせるために討論会メモを活用させたい。そして、多くの児童に発言する機会をつくりたい。

次に、この教材で特にどんな話し方・聞き方を意識して討論会に臨んでいるかを評価するために判定用紙を準備し、討論会を振り返って話した内容や聞いた内容はどうであったかをそれぞれ自己評価・相互評価させたい。今回は話し方として、「結論・考えを先に、理由を後に話す」「具体例を示しながら話す」、聞き方として「自分の考えと比較しながら聞く」「示された具体例をしっかり聞く」を意識した討論会にしたい。

また、相手意識や目的意識を持って話したり聞いたりできるようにするために、話すときの目線や声量、速さなどに気をつけさせ、自分の考えの根拠となる具体例を挙げて考えを述べさせたい。聞くときにはそういった話し手の話し方を意識させたい。

3 目標

- (1) 自分の主張が聞き手に伝わりやすいように、話の組み立てを工夫しながら的確に話し、説得力のある話し方ができる。
- (2) 話し手の意図を考えながら話の内容を聞くことができる。
- (3) 自分の立場をはっきりさせて話し合うことができる。

4 7つの言語意識

目的意識：	のことについて自分の考えを知ってもらいたいという意識をもつ。
相手意識：	のことについて に自分の考えを理解してもらいたいという意識をもつ。
場の意識：	という場において討論するのだという意識をもつ。
方法意識：	討論会をする上で、 の方法を取り入れるという意識をもつ。
時の意識：	討論会をする上で、限られた時間の中で簡潔に述べる意識をもつ。
理解意識：	自分の主張を伝え、相手の意図を理解する意識をもつ。
評価意識：	の目的を達成するために、 の場で、 の方法で、 に効果的に伝えることができたかを自己評価・相互評価する意識をもつ。

学習活動	学習のねらい	時間	教師の働きかけ
討論会について知る。	・学習（討論会形式）の進め方を理解させる。 【目的・相手・場】	1	討論会形式のCDを聞かせ、討論会に対する興味・関心を深めさせ、方法も理解させる。 討論会の流れ
主張したり，聞いたりするときの話し方・聞き方の学習をする。	・的確に話したり，相手の意図をつかみながら聞いたりする方法を理解させる。 【方法・相手】	1	話し方・聞き方のプリントをもとに「的確に話すこと」「相手の意図をつかみながら聞くこと」を理解させる。 討論会話し方シート，司会進行手順
議題を決定する。 （討論会の準備をする）	・論題に基づき，自分の立場をはっきりさせる。 ・討論会に備え，資料，情報収集し，原稿を書かせる。 【時・方法・場】	2	結論のでない論題を準備し，基本的に希望をもとにグループ編成する。 資料を整理し，より聞き手に分かりやすくかつ自分の立場に正当性があるような論が展開されるように原稿を書かせる。
討論会をする。 （本時）	・自分の立場をはっきりとし，話し合わせる。 ・相手の意図を聞き取らせる。 ・司会，記録，判定の仕方を身につけさせる。 【目的・相手・時・評価・理解】	1	集めた資料をもとに，根拠を明らかにして主張させる。 相手の主張をメモしながら聞かせる。 討論会メモ 司会進行手順に従い，進行させる。 司会進行手順 判定用紙をもとに評価させる。 評価用紙
討論会をする。 討論会をし，グループで振り返る。 （学習のをまとめをする。）	・前時と同じ ・学習後の感想を発表し合う。 【理解・評価】	1 1	前時と同じ活動をさせる。 よかった点やうまくいかなかった点について振り返らせ，グループや各自の成果を話し合わせる。

6 本時（5 / 7）

（1）目標

自分の主張をはっきりとし，具体例を挙げながら，適切な言葉づかい，声量，速さで話すことができる。

話し手の考えと自分の考えを比較しながら話の内容を聞くことができる。

（2）指導にあたって

「話す・聞く」機会を多くつくるために，グループで収集し検討した資料にもとづき，役割分担をさせ発表させたい。また，考えを主張する時間をしっかりと確保させたい。

「話し方・聞き方」を身につけさせるために，結論や考えを先に理由を後から述べさせる。その際に，具体例（資料提示等）を挙げながら述べさせる。また，相手の主張と自分の考えを比べながら聞かせる。

相手意識・目的意識を持たせるために，話し手に対する目線，声量，話す速さ，言葉づかいを意識させたい。また，相手の主張をふまえながら自分の主張をさせたい。

(3) 実際

【 】評価項目 () 評価方法

過程	時間	学習活動	教師の支援
つかむ	5分	<p>1 前時までにとまとめたもの確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 討論会に臨むため、各自準備をする。 ・ 討論会話し方シートや原稿をもとに主張する練習やグループで打ち合わせる。 <p>自分の考えがはっきり伝わるような討論会にしよう。</p>	<p>論題に対するグループの考えを確認させる。役割分担の確認をさせる。話し方・聞き方・話し合い方を確認させる。</p> <p>〔話し方〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 結論を先に話して理由を後に話す。 ・ 具体例を示しながら話す。 <p>〔聞き方〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えと比べながらきく。 <p>〔話し合い方〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の立場をはっきりとして話し合う。
	30分	<p>2 討論会をする。</p> <p>司会や記録の紹介の後、話し合いの進め方の確認をする。</p> <p>最初の主張する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 両側それぞれ自分たちの主張をする。 <p>制服側（式典のとき栄えるなど） 私服側（いろんな服を選べるなど）</p> <p>相手側へ質問・意見を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 両側それぞれ相手側の意見についての矛盾点などを質問する。 <p>お互い最後の主張をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私はやっぱり がいいと思います。その理由は・・・だからです。 	<p>まとめたことをもとに主張させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なるべくメモや、原稿を見ずに話し手を見て主張させたり、話し手を見て聞かせる。 ・ うまく話せない児童には討論会話し方シートを参考にさせる。 <p>適切な声量、速さで具体例を示しながら主張させる。</p> <p>自分の立場をはっきりと主張させる。</p> <p>反対の立場の発言をメモし、質問をするときの参考にさせる。</p> <p>【評】自分の主張をはっきりとし、具体例を挙げながら、適切な言葉づかい、声量、速さで話すことができたか。(発表・観察)</p> <p>司会の手順に従い話し合いを進行させる。司会、記録、評価係等に話し合いを振り返らせ、双方の話し方について、感想を発表させる。</p>
確かめる・深める	5分	<p>司会は判定グループに意見や感想を求め、それぞれ発表する。</p>	<p>【評】話し手の考えと自分の考えを比較しながら話の内容を聞くことができたか。 (発表・ワークシート)</p>
	5分	<p>3 学習を振り返る。</p> <p>自分の考えがはっきり伝わるような討論会にできたか。</p>	<p>今日の討論会で気づいたことや感想を発表させる。</p> <p>よい話し方、聞き方ができている児童を賞賛する。</p>
ふりかえる		<p>4 次時の学習の確認をする。</p>	<p>次時の意欲付けをする。</p>

(4) 評価

- ・ 自分の主張をはっきりとし、具体例を挙げながら、適切な言葉づかい、声量、速さで話すことができたか。
- ・ 話し手の考えと自分の考えを比較しながら話の内容を聞くことができたか。